



長野市立信里小学校

信里の宝は、りんご!!

りんご学習 i 「摘果作業」

今年のリンゴ学習の開始は、新型コロナ臨時休校が開けてから6月初旬。地域のリンゴづくり名人からの支援を受けながら、学校りんご畑に行き、少し遅めの摘果作業をすすめた。



傷をつけないようにやさしく・ていねいに



形のよいリンゴの見分け方を教わる

<子どもたちの感想>

- ◆どのりんごを残すかが難しかった。ぼくには、どれも同じ形に見えたけど…。
- ◆小さくてもここまでせっかく育ったりんごを摘みとるのは、少しかわいそうな気持ちになった。でも、りんご農家の人たちは、甘くて大きなりんごをみんなに届けたいからやっているんだなあ。

りんご学習 ii 「葉摘み／玉まわし作業」



「葉っぱと一緒にりんごが落ちそう」



さすがにプロ（支援農家）の作業は早い！

りんごを赤く色づかせるために、りんごのまわりの葉を取り除いたり、色づきの悪い部分を太陽の当たる向きにしたりと、りんごの商品化を意識しながら慎重に作業をすすめた。

<子どもたちの感想>

- ◆葉っぱを強く取ると、その近くのりんごも取れてしまった。力の入れ具合が難しかった。
- ◆ここまで大きなりんごにしたから、りんごを落とすしかなかった。りんごの玉まわしを慎重にやったので疲れた。りんご農家の人はいっぱいな。

りんご学習 iii 「収穫」

「ふじ」を親子で収穫。6月から丹精込めて栽培してきたりんごは、340個も穫れ大満足。例年のようにAコープ店頭での販売していたが、コロナの影響で中止に。学校の先生方や全校児童に注文をとって販売した。



色づいた「ふじ」の収穫



教室にならべて収穫量を確認

<子どもたちの感想>

- ◆カラスに食べられないうちに穫らないと…。
- ◆わたしたちは摘果の時に形の良いものを残したけど、形がよくないものがいっぱいあった。形のよいりんごをつくっている農家の人プロだな！
- ◆形の悪いりんごも売れるのかな？ 選別はどこでやっているのかな？

りんご学習 iv 「りんごの流通（見学）」

信里のりんごがお店で売られるまでに、どのような所に運ばれるのかを実際に見学。JA果物流通センターでの品質の選別の厳しさを痛感した。



大きさや糖度による機械選別に驚き！



加工用りんごの量に、またまた驚き！

<子どもたちの感想>

- ◆機械で甘さ（糖度）や大きさ（重さ）ごとに分けられるんだ。秀や特秀などに区別され、値段の違うんだ。
- ◆傷のあるりんごや形の悪いりんごは、りんごジュースやジャムになることを初めて知った。値段も安くなるそうだね。そのままでもおいしいのに、もったいないね。
- ◆ぼくたちのりんごも、りんごジュースやジャムになる方が多いのかな？
- ◆りんごを加工してみたい！

りんご学習Ⅴ「りんごチップスづくりに挑戦」

りんごジュースやジャム以外で、自分たちがつくれる加工についての情報を調べてきた。そこからりんごチップスづくりが始まった。



ドライフルーツ製造機にセット



出来上がったりんごチップスの大満足！

<子どもたちの感想>

- ◆あまくておいしいね。こういう食べ方は初めてだ。
- ◆「たんぽぽ（地域の特産物を販売する店）」で販売すれば売れると思う。



地域との 合同防災教室

災害学習 i 「避難所での自助・共助学習」

災害避難所で自分が地域に住む一人としてみんなのためにできることに気づき、自分の役割を考えることができた。また、災害の備えの大切さについて再認識できた。



コロナ対策でリモート講演を視聴

東日本大震災時の避難所の様子を知る

<子どもたちの感想>

- ◆東日本大震災の時には、ひなん所に来た小学生がからだの不自なお年寄りに食べ物をはこんだりしていたから、わたしもひなん所に行ったときには、小さい子どもと遊んであげたり、お年寄りに話しかけたりして、役に立ちたいです。
- ◆ぼくが住んでいるところは、お年寄りだけの家があるので、ひなん所に行くときには、荷物を持ったりして一緒に行きたいです。
- ◆いつでもひなん所に行けるように、ひじょう用品をそろえたいです。

災害学習 ii 「避難所体験」



非常食(パックライス)づくりを体験



非常食(パックライス)の試食



段ボールベッドの寝心地をチェック



簡易トイレの使い方を確認

<子どもたちの感想>

- ◆段ボールベッドに寝たり、簡単な仕切りでの体験は初めてだった。この体育館に大勢の人が避難して来た時には、自分の居る場所を確保することで精一杯になるだろう。
- ◆段ボールベッドや簡易トイレの作り方がわかった。避難してきた地域の方が床で座るよりも椅子のようなものに腰掛けた方が楽になるように、避難所を開設した際には段ボールベッドを先に作ればよい。
- ◆避難所を開設するには、市の関係者がここまで来るまでに時間がかかるし、道路が寸断されれば上がってこられない。地域の役員で開設すれば、早く対応できる。今回の研修は有り難かった。

避難所の疑似体験をしたことで、防災に関する意識が高まり、自分の行動を自分で判断することができる素地づくりに繋がった。